

4 修善寺歩道

伊豆山稜線歩道は天城峠から仁科峠へ船原峠へ戸田峠へだるま山高原レストハウスへ修善寺自然公園までの全長42kmのコースを言う。

その内、修善寺歩道と呼ばれる所は戸田峠から富士見コースを経由してだるま山高原レストハウス、更に虹の郷までのコースである。富士見コースは金冠山の頂で紹介してあるので、ここではだるま山高原レストハウスからのコースを紹介する。

修善寺駅から戸田行ききのバスで27分、だるま山高原レストハウスで下車。伊豆三絶の一つに数えられている所なのでレストハウスから駿河湾越しの富士山を眺めていこう。(11頁参照)

この地はキャンプ場となっていて、キャンピングが数棟あり、夏にはキャンパーで大変賑わう。

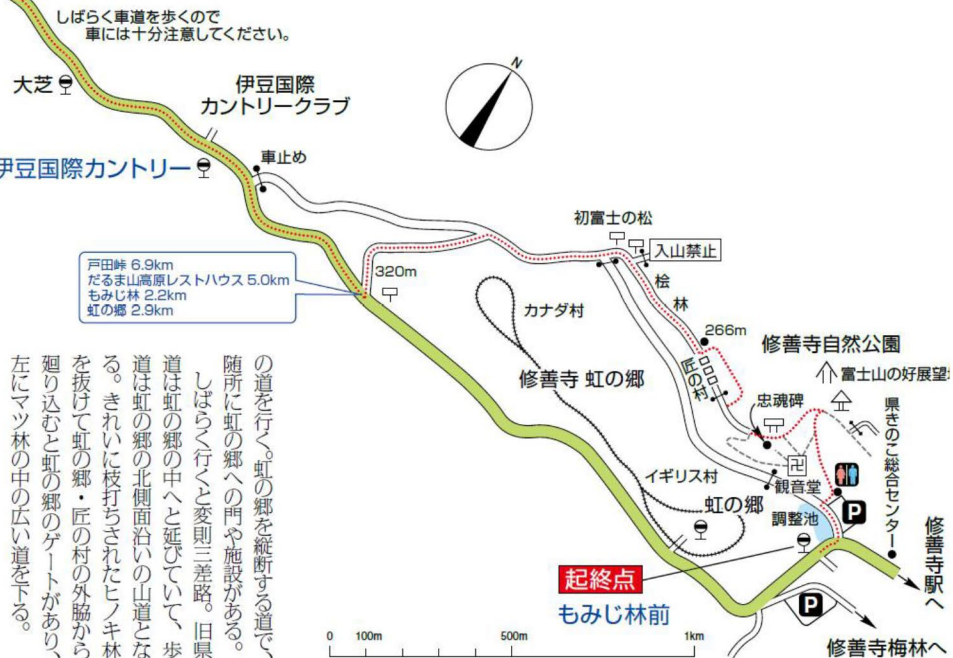
駐車場の左手にある達磨像の手前から樹林帯に入る。一日樹林帯を抜け出ると県道に出て横断し、道沿いに下る。すべくキャンプ場の入口で広い駐車場となる。管理棟の前を横切りテントサイトのあるキャンプ場へと下って行く。展望の良い所で、富士山は勿論、駿河湾、天城連山、達磨山が望める。

キャンプ場を抜けると下りが少しきつくなり灌木の中の防火帯の広い尾根道を下る。春先にはワラビが沢山生える所で、わらび狩りを楽しむ家族連れが目立つ。

長い防火帯の尾根道を下り切ると県道の三差路に出る。そのまま横断して斜面を登る。急な道を上がり切ると三等三角点がある。ここをぐっと右に曲がり、樹林帯の中を下る。県道に一日近づいて雑木林に入ると、抜けると、また県道の三差路に出る。右に下る道は北又から修善寺へ行く道だ。ここでは真すく県道を歩くことになる。県道に歩道がないので伊豆国際カントリークラブの先までのおよそ2kmは車道を歩かねばならない。車には十分気をつけて歩いてほしい。

カントリークラブから旧の県道を左に見て下ると、左に歩道の入口がある。だるま山高原レストハウスから5km、もみじ林まで2.4km、虹の郷まで2.9kmの地点である。灌木の中の広い道を緩やかに下ると旧の県道に合わる。しばし、こ

防火帯から樹林帯を抜けて伊豆最大のもみじ林へ



の道を行く。虹の郷を縦断する道で、随所に虹の郷への門や施設がある。しばし行くこと変則三差路。旧県道は虹の郷の中へと延びていて、歩道は虹の郷の北側面沿いの山道となる。きれいに枝打ちされたヒノキ林を抜けて虹の郷・匠の村の外脇から廻り込むと虹の郷のゲートがあり、左にマツ林の中の広い道を下る。

大きな忠魂碑がある広場を右に見て下ると広いマツ林。左手の丘からは富士山が望める。かつてここに天然記念物の富士見のマツがあった所で、その名残の切り株がある。舗装された急坂を下ると修善寺自然公園のもみじ林である。大正13年(1924)、修善寺町制施行記念としてカエデの種類、およそ2000本が植栽されたもので、モミジ林としては伊豆最大の規模を誇っている。秋には大勢のもみじ狩りの観光客で賑わう。園内には夏目漱石の碑もある。



コースタイム(参考)

修善寺駅	バス	27分	だるま山高原レストハウス
だるま山高原レストハウス	バス	55分	もみじ林前
もみじ林前	バス	14分	修善寺駅
修善寺駅	バス	27分	だるま山高原レストハウス
だるま山高原レストハウス	バス	55分	もみじ林前
もみじ林前	バス	14分	修善寺駅
修善寺駅	バス	27分	だるま山高原レストハウス
だるま山高原レストハウス	バス	55分	もみじ林前
もみじ林前	バス	14分	修善寺駅

●所要時間：約2時間15分



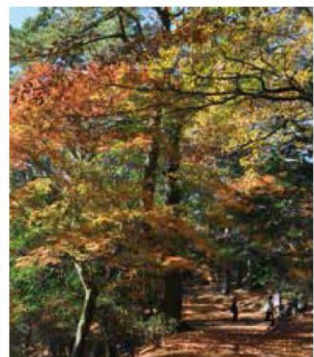
▲だるま山高原レストハウスからの富士山



▲三等三角点



▲稜線を歩く



▲自然公園は紅葉の名所



▲修善寺自然公園からの富士山